

平成27年産麦品質向上研修会および 平成26年度三重県麦作共励会表彰式

J A全農みえは平成26年10月23日（木）、松阪市嬉野ふるさと会館で、平成27年産麦品質向上研修会と平成26年度三重県麦作共励会表彰式を開催し、生産者、J A、県・市町関係機関など合わせて164人が参加されました。

麦作共励会は、安定的な高収量・高品質を確保するとともに、各品種の特長を活かしたいっそうの生産拡大をはかるため、本県産麦の生産から消費に至る現状の課題を共有し、品質向上と安定生産に向けた技術対策などの普及を目的としています。

● 麦品質向上研修会 研修内容

- 経営所得安定対策における麦の生産振興について
…………… 農林水産省東海農政局 生産部生産振興課 農産係長 三島氏
攻めの農林水産業の実現に向けた新たな政策の概要をもとに、麦にかかる政策を説明されました。
- 三重県産麦の振興施策について …… 三重県農林水産部農産園芸課 班長 高橋氏
県産麦の現状（作付面積・収量とも全国9位）を説明され、さらなる品質向上と生産拡大をめざした平成27年産麦の振興方策についても示されました。
- 三重県産麦の流通情勢について …… J A全農みえ 米穀部米穀課 課長 齋藤氏
集荷見込量や価格推移などの数字を示され、県内では麦が供給不足であることを指摘。品質向上・供給安定に向け、取り組み強化の必要性を強調されました。
- 県産麦の特徴と製品について ……………… 三重県製粉工業組合 理事長 中井氏
三重県での小麦の製粉加工の取り組みを紹介され、このうち「あやひかり」や「ニシノカオリ」の特徴を紹介されました。
- 麦の収量・品質向上技術について
…………… 三重県中央農業改良普及センター 地域農業推進課 小倉氏
26年産麦の作柄状況をふまえ、27年産麦作に向けて品質向上と安定生産のためのバランスのとれた追肥の重要性を説明されました。

○ パネルディスカッション「麦でいかに儲けるか」

共励会研修会として初めての試みとなるパネルディスカッションでは、生産者のみなさんをまじえて、生産での取り組みや、国としての戦略などの意見について討議が行われました。

● 麦作共励会表彰式

平成26年度三重県麦作共励会受賞者は、次のみなさまです。

三重県知事賞＝丹羽氏（桑名市）、県農業会議会長賞＝家所西代営農組合（津市）、
県米麦協会会長賞＝津賀営農組合（鈴鹿市）、J A三重中央会会長賞＝松岡氏
（菰野町）

表彰式後には、三重県知事賞を受賞された丹羽氏より、事例発表として経営内容や栽培管理方法などをご説明いただきました。なお、同氏は、全国麦作共励会東海・近畿ブロック農家の部へ推薦され、日本農業新聞会長賞を受賞されました。



研修会風景



受賞されたみなさま